

CSAJ 活動 pickup

2015年10月～2016年3月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2015年10月～2016年3月

2015年10月から2016年3月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察ツアー	4
イベント	5
ビジネスマッチング	8
情報提供セミナー・説明会	10
ニュースリリース	17
報告書	19
実施事業	20
ご案内	26

政策提言・意見交換

平成 27 年 12 月 24 日（金）

消費税軽減税率制度に係る質問を提出

平成 27 年 12 月 24 日（木）、経済産業省から意見照会のありました消費税軽減税率制度に係る質問について、会員への意見募集を踏まえてとりまとめた質問を、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課へ提出しました。

平成 28 年 1 月 19 日（火）

産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会 報告書「画像デザインの保護の在り方について」(案)に対する意見提出

特許庁が平成 27 年 12 月 21 日（月）～平成 28 年 1 月 19 日（火）までの期間意見募集を行っていました“産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会報告書「画像デザインの保護の在り方について」(案)に対する意見募集”に対して、会員への意見募集等を踏まえ、とりまとめた意見を、平成 28 年 1 月 19 日（金）、産業構造審議会 知的財産分科会 意匠制度小委員会へ提出しました。

○意見要旨は以下の通り。

- ・画像デザイン保護は、CSAJ 会員のビジネスに直結する重要課題であり、今般、意匠審査基準を改定して画像デザインの保護拡充を図ることに賛成
- ・企図されている意匠審査基準の改定は、物品に予め格納されたソフトウェアによる画像のみならず、後から追加インストールした操作画像やアップデートした操作画像が保護されるようになるが、現行意匠法を改正せずその枠内で保護拡充を図ろうとしているため、画像デザインと物品の一体性を保持することが要件となり、この結果、画像デザインが十分に保護されない
- ・クラウドの発展や IoT（Internet of Things）などの新たな技術展開を迎えている中で、画像デザイン保護の法整備は急務
- ・クラウドやネットワークコンピューティングによりクライアント端末に表示される画像デザインも保護対象とすべき
- ・物品の操作のための画像デザインであって、当該物品の使用を目的として接続されたモニター画面に表示されるのであれば、表示が一時的であろうと保護されるべき

平成 28 年 2 月 23 日（火）

軽減税率に係る中小企業庁との支援措置に関する意見交換会開催

平成 28 年 2 月 23 日（火）、平成 29 年 4 月 1 日から導入される消費税の軽減税率制度について、中小企業庁で検討されている消費税軽減税率対応に利用できる支援制度に関して、CSAJ 会員との意見交換会が開催されました。中小企業庁では、中小企業への支援の一環として、システム改修等の支援を検討しており、軽減税率制度の導入に伴う補助対象範囲や、パッケージソフトウェアの役割などについて、意見交換が行われました。

政策提言・意見交換

平成 28 年 2 月 26 日（金）

軽減税率対策補助金に関する要望事項提出

平成 28 年 2 月 26 日（金）、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課へ軽減税率対策補助金に係る要望事項をとりまとめて、提出しました。要望内容は、軽減税率制度に係る補助対象範囲の見直しです。（軽減税率対応のため改修等が必要な業務システムすべてへの対象範囲の拡大、補助対象条件の「現状電子受発注システム（EDI 等）を利用中であること」の削除、導入済みシステムの改修等の対象とあわせ新規導入についても対象への追加、現状利用しているパッケージソフトを軽減税率に対応したパッケージソフト（あるいは軽減税率に対応したバージョン）に切り替えるための費用も対象に追加、クラウド利用料の対象範囲としての追加、ソフトウェアの保守費用の対象範囲としての追加）

平成 28 年 3 月 4 日（金）

軽減税率制度（案）導入対策 IT ベンダー連絡会への参加

平成 28 年 3 月 4 日（金）、経済産業省別館にて、IT 産業界が連携して必要な対策を検討するための「第 1 回軽減税率制度（案）導入対策 IT ベンダー連絡会」が開催されました。連絡会では、軽減税率制度（案）の概要について説明があり、レジ導入・システム改修等支援補助金の概要説明や、流通業における軽減税率システム対応検討スタディグループの動きの報告、消費税率に影響する情報システムの実態に関するヒアリングなどが行われました。今後、この連絡会を通じて、軽減税率対策に係る政府と関係 IT ベンダー間の連絡調整や、政府から IT ベンダーへの調査・ヒアリング依頼等の調整、軽減税率導入への情報システム対応の加速に向けた対策検討等を行う予定です。

視察ツアー

米国 Cloud Expo & シリコンバレー視察ツアー



期間：平成 27 年 11 月 2 日～7 日

今回のアメリカ視察は、2014 年春の視察が非常に有意義なものであり、世界の IT 革命を牽引し続けるシリコンバレーの実力を目の当たりにしたことから、この「IT の震源地」を今後も定点観測する必要がある、とのことから実現したものです。

今回はクラウド・エキスポの開催に合わせて秋の訪問となりました。現地で活躍する起業家の方々や、クラウド領域を深耕するベンチャー企業などを合わせて訪問し、前回の訪問時と同様の熱気とそれを維持するエコシステムを実感することができました。

○[米国 Cloud Expo & シリコンバレー視察ツアー報告書](#)



マレーシア視察ツアー



期間：平成 28 年 2 月 21 日～26 日

マレーシア視察は、1996年に実施した視察ツアーで聞いたマルチメディア・スーパーコリドー計画のその後の確認（未来都市「サイバージャヤ」が現実に！）とMDEC（マルチメディア開発公社）とのビジネスマッチングを主体に実現したツアーで、今回、マレーシアの新興IT企業や、進出した日系企業を訪問し、マレーシアのIT業界の著しい発展を目の当たりにできました。

○[マレーシア視察ツアー報告書](#)



イベント

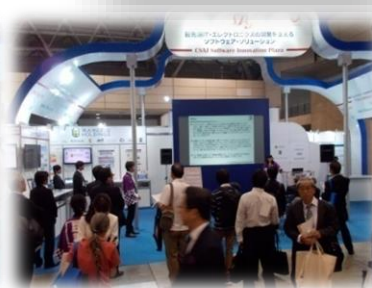
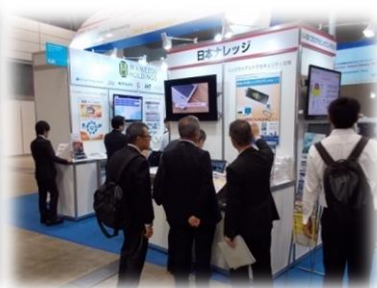
平成 27 年 10 月 7 日 (火) ~10 日 (土)

CEATEC JAPAN 2015 (主催: CSAJ/CIAJ/JEITA)

CSAJ では、幕張メッセで開催された「CEATEC JAPAN2015」に、来場者および出展社に向けた「CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ」を出展、最先端 IT・エレクトロニクスの開発を支えるソフトウェア・製品・サービスを「見せて」「聞かせる」ブースを展開しました。

ブース内では、CSAJ 会長企業である株式会社豆蔵ホールディングスグループ各社、および、会員企業 4 社による製品展示とプレゼンテーションを実施、2,000 名近い来場者が訪れました。

また、コンファレンスでは、荻原会長のキーノートスピーチのほか、ANIA/CSAJ/JASPA/JIET のパネルディスカッション等多数の CSAJ 企画セッションを実施、多くの方にご聴講いただきました。



平成 27 年 11 月 14 日 (土)

第 3 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催: 交流委員会)

平成 27 年 11 月 14 日 (土)、CSAJ 第 2 回会長杯親睦会が「真名カントリークラブ」で開催されました。

開催日当日は途中から雨が降るあいにくの天候の中での開催となりましたが、総勢 31 名の皆さまが参加されました。

皆さま日頃のゴルフの腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 3 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。



イベント

平成 27 年 11 月 17 日 (火)

第 1 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催：総務委員会)

平成 27 年 11 月 17 日 (金)、平成 27 年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 1 回懇親会を「トスラブ山王」で開催されました。

当日は、19 社/27 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 41 名の参加と大変盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介、水谷筆頭副会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの 1 分スピーチなども行われ、大変盛況な中で、豊田副会長の中締めで終了しました。



乾杯の挨拶：水谷筆頭副会長



中締めの挨拶：豊田副会長



当日参加の幹部陣



懇親会場の様子

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

株式会社 ACCESS	株式会社 Cloud Payment
FPT ジャパン株式会社	FutureOne株式会社
MCS株式会社	株式会社WEIC
アグラ株式会社	株式会社アズジェント
株式会社アトムシステム	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社エムケイシステム	株式会社シーエスデー
株式会社シイエヌエス	センターフィールド株式会社
ニッセイ情報テクノロジー株式会社	ネットコム株式会社
福島県会津若松市	株式会社楽堂

イベント

平成 28 年 1 月 20 日 (水)

CSAJ 設立 30 周年記念

特別講演・平成 28 年新年賀詞交歓会

平成 28 年 1 月 20 日(水)、帝国ホテルにて、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の設立 30 周年記念特別講演・平成 28 年新年賀詞交歓会を開催しました。

特別講演では、「夢への挑戦」と題して、元柔道日本代表山下 泰裕氏より、ご講演を賜りました。講演では、ご自身が柔道をはじめた経緯から、恩師の存在によって、勝ち負けだけでなく、人としての生き方・あり方を学んだこと、教育の重要性などをお話いただき、現在はそれを後世や世界に伝えるため、全日本柔道連盟の副会長として、MIND プロジェクト、発展途上国に対する支援等に尽力していることなど、お話いただきました。

その後行われた賀詞交歓会では、開催に先立ち、CSAJ 会長荻原紀男より皆様への新年のご挨拶とご来賓のご紹介ののち、IoT 時代に突入し、ソフトウェアの重要性が高まる中、世界の競争力は激化しており、今後日本が世界で勝ち残るためには、人材育成が重要であること、そして本日お集まりいただいたすべての企業、団体が一つになり、IT 団体連盟のもと協力しあい、今年は「二度と日本を敗戦国にしない」というテーマを掲げたい、との言葉で開会しました。

次に、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいております経済産業省北村経夫大臣政務官に、また国会議員の先生を代表して、自民党 IT 戦略特命委員長 衆議院議員 平井卓也様にそれぞれご挨拶を頂戴しました。

続いて、昨年に藍綬褒章を受章した CSAJ 名誉顧問襟川恵子より、受章の報告と喜びが述べられた後、富士通株式会社代表取締役会長 山本正己様より乾杯のご発声を頂戴しまして、宴が始まりました。

開会後は、CSAJ の前身である日本パソコンソフトウェア協会設立時の会長であった、ソフトバンクグループ代表 孫正義様より頂戴しましたビデオメッセージの放映、会場内に設けました行政会員の方々による記念品等の展示ブース、CSAJ30 周年記念誌「Innovation ~ Create the Future ~」の配布など、設立 30 周年ならではの企画をはじめ、ご参加いただきました皆様同士による、新年のご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われました。

また、会の中盤には、ご多忙にもかかわらず駆けつけていただいた、文部科学大臣 馳浩様にもご挨拶を頂戴するとともに、ご参加いただいた皆様と、活発な交流が行われました。

会の終盤では、本日を迎えるにあたって、企画・協力いただいた CSAJ 設立 30 周年記念事業実行委員会の委員紹介が行われ、委員長である竹原司による中締めで、設立 30 周年記念・平成 28 年新年賀詞交歓会は閉幕しました。

当日は、ご来賓の方々、国内外の業界関係の方々、そして CSAJ 会員企業の皆様など 500 名を超える方々にご参加いただき大変盛況な会となりました。



設立30周年記念・平成28年 新年賀詞交歓会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会



ビジネスマッチング



第 114 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 27 年 11 月 19 日 (木)、会場：インターコンチネンタルヨコハマ会議棟

参加実績：37 社 57 名

特別講演：デジタルビジネスを加速する IoT

講演者：佐野 勝大 (一般社団法人組込みシステム技術協会 理事、IoT ビジネス研究会 主宰/株式会社ユビキタス 代表取締役社長)

プレゼンテーション 1：[ワンビ株式会社](#)

発表製品分類：スマートフォン連携指紋認証サービス

発表製品名：OneBe TID (スマートフォン連携指紋認証 SDK)

プレゼンテーション 2：[アイ・サイナップ株式会社](#)

発表製品分類：IOT デバイスのインターネット接続サービス

発表製品名：Synapse (シナプス) シリーズ Pro (プロ) と Lite (ライト)

プレゼンテーション 3：[富士通株式会社](#)

発表製品分類：手書き文字認識や音声合成など UI 系を主とするハードウェア / ソフトウェア組込み用ミドルウェア

発表製品名：組込み用ミドルウェア Inspirium (インスピリウム)

プレゼンテーション 4：[株式会社ジェーエフピー](#)



第 115 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 28 年 2 月 17 日 (水)、会場：トスラブ大久保会議室

参加実績：30 社 42 名

プレゼンテーション 1：[株式会社 AXLBIT](#)

発表製品分類：SaaS アプリケーション、コンテンツサービスの契約自動化ワークフロー

発表製品名：AXLGEAR (アクセルギア)

プレゼンテーション 2：[株式会社 CloudPayment](#)

発表製品分類：カスタマーサクセス (売上向上、キャッシュフロー向上、生産性向上) に貢献する業務改善クラウド

発表製品名：請求管理クラウド経理のミカタ

プレゼンテーション 3：[株式会社 Liquid マーケティング](#)

発表製品分類：指紋認証による次世代ログインサービス

発表製品名：PASC

プレゼンテーション 4：[インテリジェントウィルパワー株式会社](#)

発表製品分類：SaaS サービス (情報管理)

発表製品名：TIWC VDR™



ビジネスマッチング



CSAJ/JASPA 共催セミナー

ビジネス拡大委員会では、全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)との共催によるセミナー・懇親会を開催いたしました。

開催日：平成27年12月3日（木）

会場：トスラブ山王健保会館 2階会議室

参加実績：77名

<CSAJ40名、JASPA 37名>

はじめに、CSAJ 荻原会長（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）より、続いて、JASPA 中島会長（株式会社 MM 総研・代表取締役所長）よりご挨拶を頂戴しました。

基調講演では、新たにCSAJにご入会いただいた Google 株式会社様より「Google プラットフォームが企業にもたらす未来」と題して、同社のテクノロジーが企業にもたらす価値について、最近の動向や事例を交えてご紹介いただきました。

その後、JASPA 様と CSAJ クラウドビジネス研究会が共同で進めているテレワークの現状に関する報告があり、KDDI 研究所様による IoT 時代に不可欠なセキュリティ技術に関するご講演が続きました。

最後は、CSAJ 会長、JASPA 会長に加えて、特定非営利活動法人日本情報技術取引所 (JIET) 副理事長にご参加いただき、「地方創生に向けたビジネスマッチングの可能性」と題したパネルディスカッションが行われました。

ソフトウェアひいては IT 産業の課題について、人材や地方企業の自立といった面から活発な議論が展開され、参加者にとって実のあるセミナーとなりました。



情報提供セミナー・説明会

政策

第15回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成27年10月22日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：14社14名

テーマ1：経営理念と課題達成型目標管理制度の考え方と実践方法

講演者：山田谷 勝善氏（経営創研株式会社 代表取締役）

講演概略：IT時代に対応する新しい経営管理の必要性とは何か。企業環境の構造が変化する中で、「課題達成型」目標管理の考え方や実践方法を説明。

テーマ2：経営理念にもとづく従業員の能力評価の考え方と方法

説明者：鈴木 勝博氏（株式会社アイ・クリエイティブ 代表取締役）

大竹氏（株式会社アイ・クリエイティブ コンサルタント兼講師）

説明概略：能力評価はどういうものかという基本的な話から、いかに個人の能力と組織の活力を向上させていくことが経営理念を実現する道であり、経営力の問題であることを説明。

第16回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成27年11月6日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：11社14名

テーマ1：社員のエンゲージメントを高める組織作り～

講演者：片岡 幸彦氏（株式会社日本総合研究所 総合研究部門リサーチ・コンサルティング事業部 上席主任研究員）

講演概略：職場・仕事に対してポジティブで充実した感情（エンゲージメント）を持ってもらうことで、収益を高め、離職率を下げる事が可能。そのためにどのような施策が必要なのか、エンゲージメント向上の考え方・を具体的に提示。

テーマ2：我が社のモチベーションアップ活動

説明者：目黒 共剛氏（株式会社クリエイトラボ 第1事業部）

講演概略：ヘルプデスク等のサポートサービスを中心に事業展開している同社グループの社員や家族が、自然に親しみ人間形成できるような複合的な目的で立ち上げた、総合福祉厚生活動の「甲府プロジェクト」について紹介。

第17回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成27年12月4日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：12社15名

テーマ：成功する経営者への道

講演者：山田隆明（山田隆明公認会計士事務所 所長）

講演概略：失敗するパターン、成功するパターン、成功パターンの実践方法の紹介。

第18回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年2月24日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：12社15名

テーマ1：メンタルヘルスから健全経営が見えてくる

講演者：山崎 友丈氏（株式会社マイン 代表取締役 マイメンタルヘルス研究所 所長）

講演概略：健康を「コスト」ではなく「投資」と捉え、その「リターン」を経営にどう結びつけていくかという話を、30年間メンタルヘルスケアの専門家として取り組んできた講師が、最新の動向情報を織り交せて案内。

テーマ2：当社のメンタルヘルスへの取り組み

説明者：藤井 輝記氏（株式会社筆まめ 取締役 事業推進部長）

講演概略：分社独立により本社機能がほとんどなかった同社が、メンタルヘルス対策に苦労したことと、その後段階的にレベルアップさせていった話について紹介。

情報提供セミナー・説明会

政策

第19回経営力向上セミナー（主催：経営力向上研究会）

開催日：平成28年3月15日（火）、会場：CSAJ会議室、参加実績：21社23名

テーマ：食品業界としてありたい姿への挑戦事例

講演者：江口 彰一氏（経営コンサルタント）

講演概略：キューピーの元工場長、元子会社社長を歴任された講師が、創業者の理念を実態化させ、数々の新規事業を成功させてきた生き様について紹介。

法務・知財

第16回座談会（主催：法務・知財委員会）

開催日：平成27年12月3日（木）、会場：CASJ会議室、参加実績：32社35名

テーマ1：システム開発会社が訴訟に巻き込まれない、そして最悪でも裁判に負けないための方法

講演者：平野 高志氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

講演概略：システム開発会社が訴訟にまきこまれないようにし、最悪でも裁判に負けないために何ができるかについて講演。

テーマ2：消費者契約法改正の動きについて

講演者：平野 高志氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

テーマ3：最近の法務知財の旬な話題について（33）

説明者：黒住 哲理氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

第17回座談会（主催：法務・知財委員会）

開催日：平成28年1月28日（木）、会場：CASJ会議室、参加実績：16社22名

テーマ1：ソフトウェア開発会社が海外進出する場合の法律知識〈中国編〉

講演者：呉征 弁護士（上海市錦天城法律事務所<ALLBRIGHT LAW OFFICES>）

高革慧弁護士（上海市錦天城法律事務所<ALLBRIGHT LAW OFFICES>）

講演概略：ソフトウェア開発会社が中国に進出する際に抑えておかなければならない法律知識について説明。

テーマ2：最近の法務知財の旬な話題について（34）

説明者：黒住 哲理氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

第18回座談会（主催：法務・知財委員会）

開催日：平成28年3月24日（木）、会場：CASJ会議室、参加実績：13社15名

テーマ1：明日から実践できるマイナンバー実務

講演者：影島 広泰氏（牛島法律事務所 パートナー 弁護士）

講演概略：マイナンバーについて、制度概要ではなく、実際に従業員や外注先から収集する際の「文書の文言」や、安全管理措置としてどこまでやっておくのが「普通」なのかといった実務的なポイントを、ひな形に基づいて解説

テーマ2：会社設立の法務

講演者：秋山 佐企子氏（ブレイクモア法律事務所 司法書士）

講演概略：会社を設立する際の留意点やポイント、メリット・デメリットについて解説。

テーマ3：最近の法務知財の旬な話題について（35）

説明者：黒住 哲理氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

情報提供セミナー・説明会

人材

企業内人材育成推進助成金活用セミナー（主催：人材育成研究会）

開催日：平成28年1月22日（金）、会場：CASJ会議室、参加実績：20社21名

説明者：宇野和彦氏（人材委員会副委員長、株式会社スキルメイト 代表取締役）

説明概略：厚生労働省の「企業内人材育成推進助成金」とiCD（iコンピテンシ ディクショナリ）を活用した申請書類作成について解説。

内定者向け社会人基礎力研修（主催：人材育成研究会）

開催日：平成28年3月10日（木）～11日（金）、会場：関東ITソフトウェア厚生年金基金会議室、参加実績：2社2名

講師：宇野和彦氏（人材委員会副委員長、株式会社スキルメイト 代表取締役）、
浮島由美子氏（人材育成研究会メンバー、Y'sラーニング株式会社 代表取締役社長）

説明概略：経済産業省が提唱する「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である「社会人基礎力」を内定者に習得してもらうため、演習を中心とした研修を実施。

「テレワークとクラウド」セミナー（主催：iCD研究会）

開催日：平成27年11月18日（水）、会場：CSAJ会議室、参加実績：21社26名

講師：田澤由利氏（株式会社テレワークマネジメント 代表取締役）

講演概略：テレワークによる生産性向上と最新情報

講師：篠崎俊哉氏（一般社団法人日本テレワーク協会 調査部長）

説明概略：“テレワーク”推進団体としての立場から、中小企業でテレワークを実現するポイントを解説。

パネルディスカッション：

モデレータ：クラウドビジネス研究会主査 松田利夫氏

パネラー：株式会社テレワークマネジメント 代表取締役 田澤由利氏、一般社団法人日本テレワーク協会事務局長 富樫美加氏、社会保険労務士 榎 裕葵氏

第4期iCD活用ワークショップ実施報告会（主催：iCD研究会）

開催日：平成28年2月4日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：14社21名

講師：木田徳彦氏（人材委員会副委員長・iCD研究会主査、株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役）

説明概略：iCDワークショップ活動内容の報告、ワークショップのポイントの説明。参加企業によるワークショップ評価及び感想。

講師：遠藤修氏（IPA HRD イニシアティブセンター）

説明概略：第4期iCD活用ワークショップの総合評価。

情報提供セミナー・説明会

国際

「IT 立国を目指す今日のバングラディッシュを知ろう」

バングラディッシュ IT セミナー（主催：アジアビジネス研究会）

平成 27 年 12 月 4 日（金）、CSAJ 会議室にて、「IT 立国を目指す今日のバングラディッシュを知ろう」と題してバングラディッシュ IT セミナーを開催いたしました。

シリコンバレーをはじめ、今の世界の IT を主導するのはインド系の人々です。インドの隣国バングラディッシュでも豊かな経済力を背景に IT 産業が勃興しています。

今回のセミナーは、バングラディッシュの文化と最新の IT 事情の双方に精通し、日本とバングラディッシュを長年に渡って繋いできた講師により、バングラディッシュの今を多方面に渡り理解していただくことができました。

開催日：平成 27 年 12 月 4 日（金）10:00～12:00

会場：CSAJ 会議室

参加実績：9 社、11 名

講演：「IT 立国を目指す今日のバングラディッシュを知ろう」

バングラディッシュ IT セミナー

挨拶：竹原 司 アジアビジネス研究会 主査（CSAJ 理事）

新津 雅博 氏 株式会社国際ビジネスインキュベーションセンター
取締役社長

講師：サリムラ・カジョール・ロッキー 氏 株式会社国際ビジネスインキュベーションセンター エグゼクティブ・コンサルタント



アジアからの優秀な IT 人材を採用・長期雇用するためのアジア等 IT 人材定着支援セミナー

（主催：CSAJ／アジア等 IT 人材定着支援協議会）

平成 28 年 3 月 23 日（水）、CSAJ 会議室にて「アジアからの優秀な IT 人材を採用・長期雇用するための、アジア等 IT 人材定着支援セミナー」を開催しました。

はじめに経済産業省の担当室長からご挨拶及び国の政策について説明をいただき、その後、第 1 部として海外からの IT 人材活用に多くの成功事例をお持ちのフォースバレー・コンシェルジュ株式会社による「海外高度 IT エンジニア採用・活用成功事例セミナー」を開催、第 2 部としてアジア等 IT 人材定着支援協議会の活動について説明しました。

また、CSAJ 人材育成研究会から、ミャンマーにおける人材育成の取組みについての説明もあり、今後のアジア圏の優秀な IT 人材の活用について理解を深めるセミナーとなりました。

開催日：平成 28 年 3 月 23 日（水）、会場：CSAJ 会議室

参加実績：22 社 27 名

挨拶：小池 雅行 氏

（経済産業省商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長）

第 1 部：海外高度 IT エンジニア採用・活用成功事例セミナー

講師：柴崎 洋平 氏

（フォースバレー・コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長）

第 2 部：アジア等 IT 人材定着支援協議会の活動について

講師：原 洋一（CSAJ 理事・事務局長）



情報提供セミナー・説明会

技術

「Software Defined = ソフトで定義する環境」で変わるアプリ開発～プラットフォームを意識しない簡単アプリ開発とは～（主催：技術委員会）

開催日：平成27年10月30日（金）、会場：大塚商会会議室、参加：23社54名

テーマ1：Software Defined Computing 『次世代インフラが可能にするITシステムの破壊的変革』

講師：田代淳一氏（インテル株式会社 インテル・ソリューション・グループ ソリューション・アーキテクト）

説明概略：開発プラットフォームを気にすることなくソフトウェア開発が可能な環境について説明。

テーマ2：Software Defined Storage における技術動向と活用・提案事例

講師：平原一雄氏

（EMC ジャパン株式会社 システムズエンジニアリング本部 アドバイザリーシステムズエンジニア）

説明概略：Software Defined Storage (SDS) における代表的な実装アプローチや今後の方向性を説明し、SDS の使いどころを解説。

テーマ3：ソフトウェア定義（Software Defined）時代にネットワーク基盤はどう変わる？

講師：生田和正氏（シスコシステムズ合同会社 SDN 応用技術室 テクニカルソリューションズアーキテクト）

説明概略：ネットワーク基盤の観点から技術トレンドを振り返りつつ、SDN の利用ケースやSDN がどうアプリケーションと連携できるのか、変わっていくのかを具体的な事例を交えて紹介。

先進企業の patents（アイデア）に学ぶ（共催：CSAJ 技術委員会/日本 IT 特許組合） ～米国 Forbes 誌掲載の注目 patents から～ - 身近な企業の patents 紹介 -

開催日：平成27年11月11日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加：24社25名

テーマ1：『最新企業の patents に学ぶ：Forbes など米国情報誌から』

講師：河野英仁氏（弁理士/日本 IT 特許組合パートナー）

説明概略：新聞紙面を賑わしたアマソンの『モバイル 3D プリンティング配送トラック』に関する特許のほか次の patents をアイデアの視点で分かりやすく解説

テーマ2：身近な企業の patents / 商品・サービスご紹介

事例1：株式会社ウェブサービス・ディベロップメント

事例2：アンサンシステムズ株式会社

事例3：アマデラス株式会社

人工知能～技術、製品、サービス～現状と傾向（主催：人工知能（AI）研究会）

開催日：平成28年2月3日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加：40社47名

講師：岸本善一氏（IP Devices, Inc.）

説明概略：IBM、Google、FaceBook、Apple、Amazon などアメリカの主要 IT 企業及び、NEC、日立、NTT などの日本の IT 企業が提供する最新技術とその傾向、ビジネス化の動向などを俯瞰的に解説。

情報提供セミナー・説明会

技術

CEATEC JAPAN 2015 モバイルアプリケーション技術最新動向調査セミナー

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 27 年 10 月 9 日（金）、会場：幕張メッセ 国際会議場

テーマ 1：これからのモバイル Web と最新動向

講師：吉川徹氏（html5j 代表）

参加：65 名

テーマ 2：ウェアラブルデバイスのアプリ開発最前線～比べてみよう Apple Watch と Android Wear～

タイトル：Android Wear 最新技術情報

講師：小林明大氏（株式会社トップゲート Android エンジニア）

タイトル：Apple Watch 最新情報とビジネス利用の可能性

講師：中居郁氏（株式会社ジェーエムエーシステムズ モバイルソリューション事業部 統括マネージャー）

参加：103 名

人工知能 最前線セミナー（主催：人工知能（AI）技術研究会）

開催日：平成 28 年 3 月 10 日（木）、会場：トスラブ市ヶ谷会議室、参加：47 社 58 名

講師：中山五輪男氏（ソフトバンク株式会社／ソフトバンクロボティクス株式会社 首席エヴァンジェリスト）

テーマ：IBM Watson 概要と応用事例の紹介

説明概略：IBM 社開発の認知型コンピュータシステムの IBM Watson は IBM Watson の概要や応用事例、海外ベンダーの開発アプリなどを多くの映像を交えながら紹介。

IoT 最新事例+政府 IoT 推進コンソーシアムの取組（主催：IoT 推進研究会）

開催日：平成 28 年 3 月 10 日（木）、会場：CSAJ 会議室、参加：17 社 21 名

テーマ 1：都市 OS 実現のための数値モデルと計算基盤

講師：藤澤克樹氏（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授）

説明概略：現在、大量のセンサーデータ等を活用した新しいサービスの集合体（都市 OS）の開発が進められている。都市全体での交通流の最適化や緊急事態に対するリアルタイムの対応策などの最新の研究及び開発中の応用事例を紹介。

テーマ 2：IoT 推進コンソーシアム/IoT 推進ラボの取組と今後の方向性について

講師：南崎義徳氏（経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐）

説明概略：企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進するため、設立された IoT 推進コンソーシアム/IoT 推進ラボのこれまでの取組や関係プロジェクト紹介、政府関係予算、今後の活動方針等を説明。

情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

知らないと損をする

ソフトウェアベンダーのためのマーケティングとは

開催日：平成 27 年 11 月 18 日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：37 社 43 名

テーマ 1：ソフトウェアベンダーが実践すべきマーケティング施策

講演者：生熊清司氏

（株式会社アイ・ティ・アール リサーチ・ディレクター／シニア・アナリスト）

講演概略：マーケティングの基礎とソフトウェア製品ベンダーが行うべきマーケティング活動について。

テーマ 2：抜群のマーケティング費用対効果を可能にする PR「プレスリリース」講座

講演者：小林 保 氏（株式会社 PR TIMES マーケティング本部 アカウントプランナー）

講演概略：Web を活用した適切なプレスリリース配信方法について。



第 4 次情報革命のダイナミックな展開と“あるべき IT 経営”

開催日：平成 28 年 2 月 9 日（火）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：17 社 18 名

テーマ：第 4 次情報革命のダイナミックな展開と“あるべき IT 経営”

講演者：堀切 達也氏

講演概略：“あるべき IT 経営”を、いかに創りだすべきなのか、共に考える



軽減税率制度（案）に係る財務省からの説明会

開催日：平成 28 年 3 月 17 日（木）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：21 社 32 名

テーマ：軽減税率制度（案）に係る説明

講演者：安掛 真一 氏（財務省主税局税制二課 税制専門官）

講演概略：消費税軽減税率制度（案）に係る説明

ニュースリリース

平成 27 年 10 月 2 日 (金)

マイナンバー対応ソフトウェア認証製品決定

CSAJ が運営する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、10 月 1 日に認証判定を実施、新たに 2 社 2 製品を認証しました。

平成 27 年 10 月 5 日 (月)

【速報】U-22 プログラミング・コンテスト、最終審査会で各賞決定！！

U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、平成 27 年 10 月 4 日秋葉原 UDX で行われた最終審査会にて、入選作品 16 作品についての各賞受賞を決定しました。

平成 27 年 10 月 7 日 (水)

CSAJ スタートアップ支援事業、支援先が決定

本年 6 月に開始した「CSAJ スタートアップ支援事業」の第 1 回投資委員会を開催し、5 社のスタートアップ企業への支援を決定いたしました。本事業の開始とともに、8 月末を期限として起業家を募集していましたが、15 社の応募があり、先月開催された第 1 回投資委員会において、今後の成長が見込まれる 5 社を選定、支援先として決定いたしました。

平成 27 年 11 月 9 日 (月)

「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」 認証製品決定！！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、個人番号を直接扱う業務アプリケーションが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、11 月 5 日に認証判定を実施、新たに 1 社 3 製品を認証しました。

平成 27 年 11 月 25 日 (水)

「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」 認証製品決定！！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、個人番号を直接扱う業務アプリケーションが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、11 月 24 日に認証判定を実施、新たに 1 社 1 製品を認証しました。

平成 27 年 12 月 16 日 (木)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」の開催決定！！

36 年の歴史を持つプログラミング・コンテストを主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、来年度も「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」として開催することを決定しました。

お陰様をもちまして、2015 年のコンテストも小学生から大学生まで幅広い年齢層が応募し、10 月に秋葉原 UDX で開催された最終審査会で応募作品 175 作品中 16 作品が経済産業大臣賞をはじめとした各賞を受賞し、成功裏に終了することができました。

このたび来年度開催の決定をお知らせすると共に、協賛スポンサー企業の募集も開始しました（募集締切：2016 年 1 月末）。協賛スポンサー企業には、ランクに応じて実行委員会・審査会・懇親会へ参加できる権利が与えられるなどの特典があります。

ニュースリリース

平成 27 年 12 月 24 日 (木)

「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」 認証製品決定！！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、個人番号を直接扱う業務アプリケーションが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、12月22日に認証判定を実施、新たに2社2製品を認証しました。

平成 28 年 1 月 28 日 (木)

ISO/IEC 25051:2014 準拠 PSQ 認証制度認証製品決定！！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、ソフトウェア製品の品質を第三者が評価する PSQ 認証制度において、1月27日(水)に第11回判定委員会（委員長：東 基衛氏（早稲田大学 名誉教授））を開催し、1社1製品が新規に認証されました。

報告書

第2期若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修

終了報告

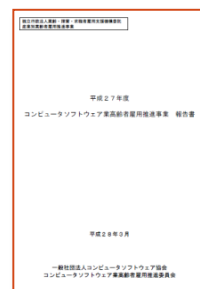
技術委員会が企画した若手エンジニアを対象とした英語コミュニケーションによる米国最新IT動向を平成27年11月7日(土)～11月15日(日)米国ロサンゼルスにて学び、また、研修終了後の平成28年1月29日(金)には研修参加者によるプレゼンテーション報告会を行った「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」の実施結果をまとめた報告書です。(参加18名)



平成27年度

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業報告書

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進委員会が中心となり、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より受託した「産業別高齢者雇用推進事業」における調査結果をまとめた報告書です。



平成27年度 CSAJ スタートアップ支援事業実施報告書

(経済産業省平成26年補正予算事業)

CSAJ スタートアップ支援運営委員会が中心となり、経済産業省の平成26年度補正予算事業「先輩起業家等によるスタートアップ支援モデル構築事業」との連携を図り実施した平成27年度のCSAJ スタートアップ支援事業をまとめた報告書です。



平成27年度

第4期 iCD 活用ワークショップ実施報告書

毎年7月から9月にかけてiCD研究会が中心となりIPAが推進しているiCD(iコンピテンシディクショナリ)を活用した企業の人材育成を支援する活用ワークショップの実施報告書です。



BYOD サンプル規程等改訂

私有スマートデバイス取扱規程サンプル及びスマートデバイス・セキュリティポリシーサンプル解説書について、2013年に公表しました第1版から、時勢にあわせ、マイナーバージョンアップを行いました。

実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月に計 12 回の委員会を開催し、付与適格決定 100 社（更新 66 社、新規 34 社）、個人情報事故措置 11 件を決定しました。

2. 平成 27 年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退/ 退会/審査 機関変更	P マーク 実質増減数
平成 26 年度実績	56 社	8 社	64 社	—	7 社	4 社	5 社	7 社
平成 27 年度実績	70 社	34 社	104 社	162.5%	40 社	1 社	10 社	25 社

※実績は、審査中を含む。

実施事業

U-22プログラミング・コンテスト 2015

当コンテストは、1980年から経済産業省の主催により、優れた才能を持ったイノベティブなIT人材の発掘と育成を目的として開催されてきました。2014年からは本コンテストの主旨にご賛同、ご協賛いただいた企業から構成された「U-22プログラミング・コンテスト実行委員会」（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）が主催、CSAJが運営事務局として、歴史あるプログラミング・コンテストを継承し、更なる発展を目指し、実施しています。

2015年は4月1日に応募要領を公開し、7月1日から8月17日までの間、応募を受け付け、全応募作品数は175作品となりました。その中から事前審査、一次審査を経て入選16作品を決定し、10月4日（日）の最終審査会で各賞が決定しました。コンテスト最優秀賞である経済産業大臣賞には、大学生・専門学校生に混ざって小学生も受賞するなど、若年層の活躍が目立った大会となりました。

○応募結果

応募総数	175	ジャンル	学年		
個人	78	セキュリティ	7	小学	4
団体	97	言語	4	中学	9
応募方法		ユーティリティ	47	高校	28
ストレージ	53	コミュニケーション	9	高専	6
Web	17	学習&教育	18	専門	90
郵送	105	ゲーム	81	大学	38
		その他	7	その他	0
		不明	2		

○経済産業大臣賞（経済産業省にて表彰状の授与／副賞：10万円、トロフィー）

作品名	制作者 or チーム名（学校名）
allergy	中馬 慎之祐（成蹊小学校）
Streem	清水 大輝（米子工業高等専門学校）
すまっとシューター	KBC 射的屋（河原電子ビジネス専門学校）
Recture ～ 復習しやすい授業記録アプリ ～	藤坂 祐史（筑波大学）



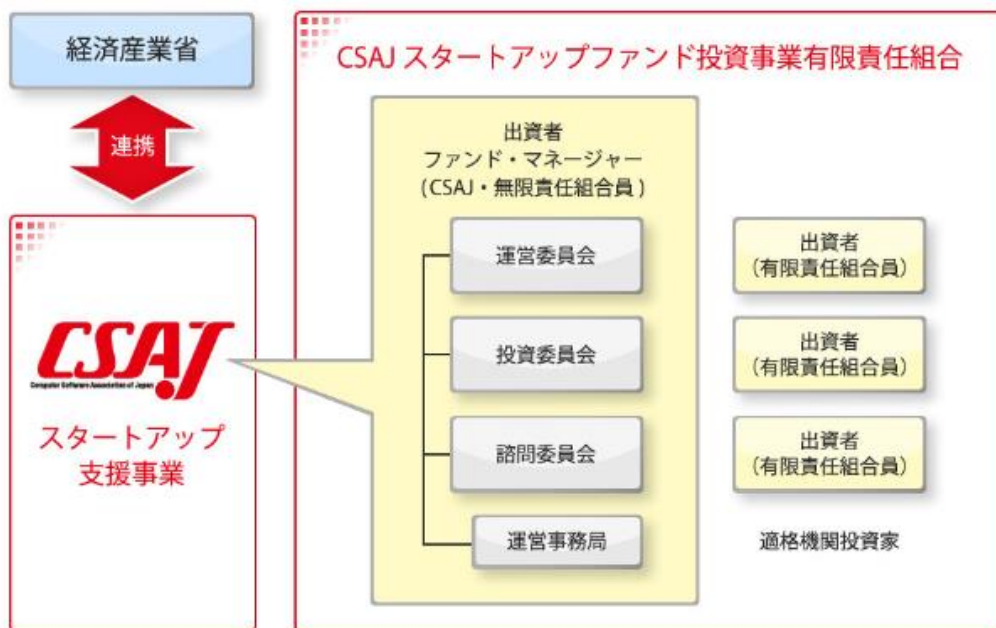
実施事業

スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、また、経済産業省におけるITベンチャー支援に関する政策とも連携しながら、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を4月より開始しました。

また、経済産業省の平成26年度補正予算事業「先輩起業家等によるスタートアップ支援モデル構築事業」との連携を図りながら実施しました。

初年度となる2015年度は全体で21社の応募があり、投資委員会において今後の成長が見込まれる7社を選定、各種の支援プログラムを提供し、12月には「CSAJ Startup Demo Day 1st」において、多くの投資家様に対してプレゼンテーションが行われました。



支援企業 7 社

 <p>BANK INVOICE 紙をなくす会社。</p>	 <p>eBook Cloud</p>	 <p>Premium ARTS</p>	 <p>あなたをそだてる。 Manabelle</p>
Bank Invoice 株式会社	株式会社 eBook Cloud	株式会社プレミアムアーツ	株式会社 Manabelle
 <p>Mealthy</p>	 <p>mobilus</p>	 <p>FacePeer</p>	
株式会社 Mealthy	モビルス株式会社	FacePeer 株式会社	

2016年3月31日現在

実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

CSAJ Startup Demo Day 1st

12月15日、CSAJでは、経済産業省の平成26年度補正予算事業の支援を受け、CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合と共催で、CSAJ スタートアップ支援事業の一環として「CSAJ Startup Demo Day 1st」を東京ミッドタウンにて開催しました。

開催日：平成27年12月15日（火）15:00-19:00

会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room

当日は、CSAJ スタートアップ支援事業として平成27年6月～8月に募集（第一次募集）を行い、応募のあった15社の中から選ばれた5社のスタートアップ企業が発表しました。

当日は、ソフトウェア系スタートアップ企業への投資等を行うベンチャーキャピタル（VC）、事業会社のベンチャー投資部門の担当者、CSAJ スタートアップ支援事業のメンターなどの関係者など約100名が参加し、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課の渡邊課長の基調講演の後、第一次募集で支援対象として選定された5社によるプレゼンテーション（事業紹介・提案）と質疑応答を実施し、その後、デモブースも設置された会場で懇親会が行われ、盛況のうちに終了することができました。

■基調講演

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課課長 渡邊昇治氏より「IT 施策の動向」と題したご講演を頂戴しました。

IoT 推進コンソーシアムや未踏事業、攻めのIT 経営等経産省による施策を解説いただきました。

■スタートアップ企業のプレゼンテーション

CSAJ ファンドからの投資が決まったスタートアップ企業より、各社の製品・サービスに関するプレゼンテーションを実施しました。

■懇親会

5社のプレゼンテーション終了後、スタートアップ企業各社の製品・サービスを実際にご覧いただくデモブースを用意した懇親会を開催、発表後の質疑応答では確認しきれなかった製品の動作や各社のマネタイズなど、参加者からの積極的な質問に各社が対応しました。



実施事業

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より受託した「コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用推進事業」では、コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進委員会（委員長：梅澤隆（国土館大学政経学部 教授・博士（商学））が中心となり、平成 27 年度は、会員企業を中心としたコンピュータソフトウェア企業に対し、労働力人口の高齢化の状況や、置かれている経営環境、求められる労働者の性質、形態などについてアンケート調査とヒアリング調査を実施しました。

その結果、当業界における従業員構成の傾向をつかむことができ、当業界における高齢者雇用推進に向けた課題などの洗い出しを行い、その結果を報告書としてまとめました。

なお、平成 28 年度は、本調査の結果を踏まえ「コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進ガイドライン」を作成し、広く普及活動を実施いたします。

○アンケート調査の概要

1)調査期間

2015（平成 27）年 9 月 4 日～2015（平成 27）年 10 月 31 日

2)調査対象

CSAJ 会員企業を中心としたパッケージソフトウェア企業を対象に、経営者あるいは、人事・総務部門の責任者にアンケート調査票を配布

3)回収状況

経営者(企業) 154 サンプル（回収率：42.5%）

従業員(個人) 361 サンプル（回収率：33.2%）

○ヒアリング調査の概要

企業ごとの具体的な状況についての情報を収集するために、アンケート回答企業の中から 12 社選定し、個別ヒアリングを行いました。ヒアリング企業の地域、従業員規模は以下の通りです。

	地域	従業員規模
A 社	東京	299 名
B 社	東京	34 名
C 社	東京	157 名
D 社	九州	222 名
E 社	北陸	46 名
F 社	北陸	141 名
G 社	九州	234 名
H 社	関西	168 名
I 社	関西	195 名
J 社	東京	197 名
K 社	東京	470 名
L 社	東京	3,872 名

実施事業

PSQ 認証制度事業

1. PSQ 認証制度判定委員会 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

ソフトウェア品質に関する学識経験者等を委員委嘱し、評価結果に基づく認証報告書から PSQ 認証ロゴの付与適格性審査を行う第三者委員会として、平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月に計 3 回の委員会を開催し、新規 6 製品更新 3 製品を決定いたしました。本制度の運用を開始した平成 26 年から累計で 20 社 31 製品が PSQ 認証を取得しています。

2. 平成 27 年度 PSQ 認証取得状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2015006	株式会社JTBコーポレートソリューションズ	J's NAVI NEO	2	平成28年1月27日
PSQ-Q2015005	ウイングアーク1st株式会社	MotionBoard	5.5	平成27年9月29日
PSQ-Q2015004	ウイングアーク1st株式会社	Dr.Sum EA	4.1	平成27年9月29日
PSQ-Q2015003	ウイングアーク1st株式会社	SVF	9.2	平成27年9月29日
PSQ-Q2015002	弥生株式会社	弥生会計 オンライン	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2015001	大興電子通信株式会社	PROCIRESUTTE	4	平成27年9月29日
PSQ-Q2014012	株式会社建設ドットウェブ	どっと原価 NEO EX/どっと原価 NEO	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2014005-1	株式会社工ヌジャーケー	DataNature Smart Ver.3	3.0.0	平成27年9月29日
PSQ-Q2014010-1	弥生株式会社	やよいの白色申告オンライン	2	平成27年7月22日
PSQ-Q2014009-1	弥生株式会社	やよいの青色申告オンライン	2	平成27年7月22日

3. マイナンバー対応ソフトウェア認証

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループ(以下、マイナンバーWG)が定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能、および、個人番号を直接扱わない支援ソフトウェアが実装している機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

今年度は、11 社 18 製品が認証を取得しています。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
MN-2015018	カシオ情報機器株式会社	楽-EXシリーズ+楽-PORTALマイナンバーシステム	平成27年12月22日 01	平成27年12月22日
MN-2015017	株式会社クリックス	マイナ・キーパー	1	平成27年12月22日
MN-2015016	ラディックス株式会社	マイナンバー管理・収集サービス(※)	1.0.10	平成27年11月24日
MN-2015015	株式会社三ロク情報サービス	MISかんたん! 給与 10	10.0.000.0	平成27年11月5日
MN-2015014	株式会社三ロク情報サービス	MISマイナンバー-Cloud	1.00.0000	平成27年11月5日
MN-2015013	株式会社三ロク情報サービス	MISマイナンバー	1.00.0000	平成27年11月5日
MN-2015012	ピー・シー・エー株式会社	PCA人事管理X (PCAマイナンバー-収集サービス)	1	平成27年10月1日
MN-2015011	ソリマチ株式会社	給料王17	17.00.00	平成27年10月1日
MN-2015010	株式会社OSK (開発元) / 株式会社大塚商会 (販売)	らくらくマイナンバー対応システム	1.1	平成27年9月11日
MN-2015009	株式会社OSK	SMILE BS2 人事給与	7.91	平成27年9月11日
MN-2015008	株式会社システムリサーチ	BIG給与計算Pro	6.1	平成27年9月11日
MN-2015007	応湖株式会社	給与大臣NX	2.9	平成27年9月11日
MN-2015006	株式会社オービックビジネスコンサルタント	法定調書奉行V ERP8 (法定調書奉行 i8)	2.14	平成27年9月11日
MN-2015005	株式会社オービックビジネスコンサルタント	給与奉行V ERP8 (給与奉行 i8)	2.14	平成27年9月11日
MN-2015004	株式会社オービックビジネスコンサルタント	OMSS+ マイナンバー-収集・保管サービス	1	平成27年9月11日
MN-2015003	弥生株式会社	やよいの給与計算 16	19.0.1	平成27年9月11日
MN-2015002	弥生株式会社	弥生給与 16	19.0.1	平成27年9月11日
MN-2015001	ピー・シー・エー株式会社	PCA給与X (PCAマイナンバー-収集サービス)	1	平成27年9月11日

ご案内

CSAJ スタートアップ支援事業、2016 年度スタートアップ企業の一次募集開始



ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて 30 年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	平成 28 年 4 月 1 日～7 月 31 日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表までの流れ
CSAJ ファンドからの出資	(1)シード期の初期投資：300 万円を想定（取得株式：5～10%を想定） (2)成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000 万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

U-22 プログラミング・コンテスト 2016 応援団募集中！

U-22 プログラミング・コンテスト 2016 では、コンテスト認知度のさらなる向上と、より多くの皆様に、もっと気軽に参加いただくため、通常の「スポンサー」枠とは別の「応援団」という小口協賛枠を創設することといたしました。皆様にぜひ当コンテストの趣旨（日本国内のイノベティブな人材の発掘と育成）にご賛同いただき、企業 CSR の一環として学生の皆さんを応援しませんか？ご参加お待ちしております！

【参加費】 50,000 円（税抜）/社

※応援団にお申込みいただいた企業は U-22 プログラミング・コンテスト 2016 公式 Web サイトに「ブロンコ応援団」として社名を掲載します。また、最終審査会場（来場者数 100 名程度）において、各企業のカタログ・チラシを 1 種類設置することが可能です。

【期 間】 2016 年 4 月～2016 年 10 月まで

【申込期限】 2016 年 9 月 30 日（金）まで

【申込方法】 E-mail（u22-info@csaj.jp）に応援団希望の旨ご連絡いただけましたら申込書をお送りします。

